

稲美町教育委員会議事録

- 1 開催日時 令和7年2月21日(金) 開会 15時20分
閉会 17時00分
- 2 開催場所 稲美町役場303会議室

3 会議に付した事項

日程第1 諸報告

- (1) 行事・経過報告について
- (2) 2月・3月の行事予定について

日程第2 議案

(令和6年度)

議案第18号 学校教育又は社会教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針を定めることについて

議案第19号 令和6年度3月補正予算に係る意見について

(令和7年度)

議案第1号 令和7年度教育予算に係る意見について

日程第3 協議

- (1) 稲美町立学校の教育職員の業務量の適切な管理その他教育職員の健康及び福祉の確保を図るために実施すべき措置に関する方針（働きがいのある学校づくりに関する方針）の一部改正について

日程第4 その他

- (1) 1月分問題行動件数について
- (2) 総務福祉文教常任委員会の報告について(総務福祉文教常任委員会資料参照)
- (3) 令和6年度第2回稲美町生きる力を育むための小・中連携推進委員会の報告について
- (4) 第2回稲美町心の健康サポート委員会の報告について

(5) 令和6年度第4回稲美町社会教育委員会の報告について

(6) 令和6年度第2回稲美町青少年問題協議会の報告について

4 出席委員

教 育 長	北 谷 錦 也
委 員	後 藤 哲 夫
委 員	本 多 澄 子
委 員	高 田 道 夫
委 員	松 田 緑

5 出席職員

教育政策部長	沼 田 弘
教育課長	奥 陽 一
学校教育担当課長	稲 葉 寛
管理担当課長	前 田 浩 二
人権教育課長	瀧 口 泰 広
生涯学習課長	赤 松 嘉 彦
スポーツ担当課長	中 澤 秀 俊
文化の森課長	中 嶋 聖 仁

6 開 会

教育長

委員の皆さまにおかれましては、お忙しい中ご出席をたまわり、誠にありがとうございます。

本日の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により定足数に達しております。よって、会議が成立しておりますので、ここに開会いたします。

本日の議事日程は、お手元に配付いたしております。

会議の傍聴についてですが、傍聴される方はいらっしゃいません。

次は、議事録の承認です。1月の定例会議事録をお手元に配付いたしておりますが、これを承認いただけますか。

各委員

異議なし。

教育長

異議なしのお声をいただきましたので、議事録は承認されました。

次は、議事録署名委員の指名であります。議事録署名委員は、稲美町教育委員会会議規則第16条第2項の規定により、教育長から指名いたします。2月分を本多澄子委員にお願いします。

続きまして、私から、日程第1、諸報告ですが、別紙資料の通りです。

続きまして、各課より報告をお願いします。

教育課

(報告内容省略)

人権教育課 (報告内容省略)

生涯学習課 (報告内容省略)

文化の森課 (報告内容省略)

教育長

各課の報告について、何かご意見があればお願いします。

高田委員

2 ページの教育課の2月15日土曜日、チームK「トライやるスクール」、加古小学校でお仕事体験についてです。私は、ボランティアスタッフとして、9時から11時まで、子ども達が体験するのをサポートしました。素晴らしいイベントでした。

イベントは、音楽で素晴らしいことや、スポーツで素晴らしいことなどいろいろあると思いますが、お仕事体験で子ども達が夢中になって、お世話するスタッフの方まで楽しかったというのは、これまでなかったと思います。

はじめ要領もわからずに、加古小学校の生徒がほとんど全部これに参加したんだと思っていたら、実際には天満小学校の子ども達が3分の2ほどいたのです。司会の方が、「では、一度に帰っていただいたら、混雑しますので、まず、遠い方から、天満小学校の児童から帰ってください。」と言われて、ドバーッと帰って、加古小学校の体育館が一挙に寂しいことになってしまったわけです。

実際、中身が見られたのは、私がサポートした工務店の大工さんの体験や、蜂蜜を作ろう、和菓子を作ろうなどで、他にもありましたが、全部は見られませんでした。

当然抽選というのは、人数に制限があって、工務店の大工さんの体験をするのは、本当に木の板があって、釘が打ちやすいように、あらかじめ若干穴が開けてありました。だからそれをしていったらいいだけなのですが、金槌を使うのは大人でも難しいです。だから、特に低学年の子どもには難しいと思います。そのうまくいかないことも良い体験だと思います。カンナで木を削ったら、どれぐらい木が美しくなるのか。体験した子ども達は、綺麗にやりたくて、どんどんやっていました。素晴らしい体験でした。

教育長

コミュニティ・スクールを中心とした地域行事ということで、今高田委員からありましたように子ども達が非常に良い体験をしたと思います。それが何よりです。子ども達の笑顔により、学校と地域の繋がりが強くなった。このような取組がコミュニティ・スクールの非常に良いところだと思うので、継続をしていただくことを願っております。

後藤委員

4 ページの人権教育課、ふれあい教室保護者の会が予定されているということですが、計画的に年何回とか、そういったことでされている情報交換の状況を教えていただけますか。

保護者にとって、それがどんな意味を持つのかという感想も聞かせていただけたらと思います。

瀧口課長

保護者の会は、年3回から4回。今年度に関しては、今回は3回目となります。

不登校の児童生徒の保護者は、誰にも相談できないということで、保護者の会を開き、情報交換をして、同じ悩みを持つ意見を聞くことができ、気持ちが楽になったというご意見があります。

今回3回目ということで、今までふれあい教室の通級生だった生徒が、今高校生、大学生になり、その方に来ていただいてお話をしてもらうこととしています。その時に、子ども達がどのような状況だったかということも含めて、いろいろなお話をする予定としています。保護者の会は、続けることによって、保護者の方の安心感につながる会になるかと思います。

後藤委員

1月26日のビブリオバトル。本を読むのが好きな子は、いろいろな知識を得てインプットする。年1回、一番好きな本を発表してアウトプットする。ビブリオバトルという機会があるということは、非常に良いことだと思います。

中学生でも好きだという子もいるだろうし、みんなの前で、気に入ったところを聞いてもらえる機会があると、貴重な経験になるのではないかなと思います。時間的にも難しい面もあるかなと思うのですが、できたら中学生へも広げていく方向で探ってもらえないかと思います。中学生2年生3年生ぐらいになると考えも深まりますし、聞いていても、我々も参考になる、バージョンアップができるのではないかなという思いがあるのですが、いかがでしょうか。

中嶋課長

当初は高校生中心に全国的にはビブリオバトルが行われていて、当時の松尾教育長からビブリオバトルをしてはどうかというお話がありまして、特に小学生に機会を与えたいということでした。

今回後藤委員もおっしゃっていた通り、アンケートの中でもご意見がありました。予算のこともありますので、来年度できるかどうかわかりませんが、今後検討していきたいと考えております。

教育長

次は日程第3(令和6年度)議案第18号「学校教育又は社会教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針を定めることについて」を議題といたします。事務局から提案理由の説明を求めます。

瀧口課長 (説明内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、これより採決に入ります。議案第18号は、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

各委員

異議なし。

教育長

ご異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり承認されました。

次は(令和6年度)議案第19号「令和6年度3月補正予算に係る意見について」を議題といたします。事務局から提案理由の説明を求めます。

沼田部長 (説明内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、これより採決に入ります。議案第19号は、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

各委員

異議なし。

教育長

ご異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり承認されました。

次は(令和7年度)議案第1号「令和7年度教育予算に係る意見について」を議題といたします。事務局から提案理由の説明を求めます。

沼田部長 (説明内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、これより採決に入ります。議案第1号は、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

各委員

異議なし。

教育長

ご異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり承認されました。

次は、日程第3、協議(1)「稲美町立学校の教育職員の業務量の適切な管理その他教育職員の健康及び福祉の確保を図るために実施すべき措置に関する方針(働きがいのある学校づくりに関する方針)の一部改正について」を事務局から説明願います。

奥課長 (説明内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

後藤委員

22ページの第3、児童生徒等に係る通常予見することのできない業務等という、教職員の業務量を考える上で、しんどい、疲れたというのは、こういう予見することのできない、さまざまな問題行動に対する対応や、保護者への対応など、そういったものが連日重なるというようなことが、一番職員の健康にも関係します。また、みんなに疲れがたまってしまうという、そういうことに繋がると思います。一部の先生に任されていかないようにすることが、学校を運営していく上で大事なことではないかと思えます。問題が起こる前に、担当の先生がしっかりしてないからだということで、個人の責任に持って行きがちになったり、またそういうふうと考えてしまう。

特に小学校でそういうことがよく起こりがちです。

中学校は、全体で生徒指導をされていると思うのですが、学校も、みんなで子ども達が落ち着いて取り組まなければいけない問題が起こらないような学校の風土で、雰囲気を作っていくことの大切さをみんなで確認をして、全員で共通してやろうということを持っているかどうか。基礎的な安定した雰囲気を作る取り組みをみんなで支え合っているんだ。誰かが問題を起こしたときには、その対応した人だけの問題ではなくて、全体の問題として考えなければいけないんだという考え方で進んでいくことが、とても大事なのではないかと思います。

先生方には、ぜひみんなで作っていく、規律ある状態といいますか、意識してもらうことで、管理職の方々の意識として持っていて進めてもらう。巡り巡って疲れた感を増やす業務を減らしていくことに繋がっていくのではないかと思います。

奥課長

こちらの方針が定められたもとは、委員におっしゃっていただいたように、教職員の業務量過多に関して、国を挙げて、教員の働き方を考えようとなっております。

今いただきましたご意見も含めまして、校長会等、学校運営協議会等で、内容について話を進め、全体で取り組むこと、そして教職員への意識づけといったところも含めて、校長には伝えて参ります。

高田委員

新聞等で報じられているように、教職員の採用試験の倍率が、例えば県ごとに1.5倍とか、2倍とか、私からしたら信じられない倍率で、倍率が高ければいいというものでもないのですが、学校の先生方の仕事が、大変だと広まってしまって、希望者がいないというのはとても残念なことです。

私の話をすると昔話になりますが、ご存じの方もおられると思いますが、私は民間の国家試験の受験指導校とか、あるいは専門学校とか、あるいは予備校で、合計30年ほど勤めてきたわけなのですが、そんなところで、楽やったかとか、楽しいから、生きがいがあったら人に勧められるということは全くなかったと思います。数字を問われて、教育内容よりも、募集できた人数とか、シビアなとらえ方をして、それを報告して、いろんな大変な仕事というか長時間の仕事をやってきました。

今、公立学校の先生の職場がブラックだという、そんなことは絶対ないと私は思っておるんですが、どうか先生方が、それこそ、知り合いに、いい仕事だよ、やりがいのある仕事だよというのを、情報発信されるような形に持って行っていただきたいと思います。

奥課長

先ほど申しあげました通り、この方針を見直すところまで至っていないことも含めて、管理職だけでなく、先生方一人一人に本方針を理解していただき、職員全体で取り組めるように、今後も周知徹底を図りながら推進して参ります。

教育長

他に何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、協議事項を終わります。

次は、日程第4、その他(1)「1月分問題行動件数について」を事務局から説明願います。

稲葉課長 (説明内容省略)

瀧口課長 (説明内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

次は、その他(2)「総務福祉文教常任委員会の報告について」を事務局から説明願います。

中嶋課長 (説明内容省略)

稲葉課長 (説明内容省略)

前田課長 (説明内容省略)

瀧口課長 (説明内容省略)

中澤課長 (説明内容省略)

前田課長 (説明内容省略)

中嶋課長 (説明内容省略)

赤松課長 (説明内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

松田委員

いただいた資料の方で、48ページなのですが、私がちょっと知らないのですが、重点事項のところ、2番の②のところ、ひよこ学級の機会を利用してということで、幼稚園に入られる前のお子様のことを指されていて、対象にされているのかと思うんですが、こういった内容の活動をされているか教えていただけたらと思います。教室の中で何かをするというようなことはなくて、外遊びでという感じでしょうか。

奥課長

各幼稚園で就園前の子ども達が、各地区にいらっしゃいますので、その子たちを親子で案内して、幼稚園に慣れてもらうということも含め実施しております。

教育長

次は、その他(3)「令和6年度第2回稲美町生きる力を育むための小・中連携推進委員会の報告について」及び(4)「第2回稲美町心の健康サポート委員会の報告について」を事務局から説明願います。

稲葉課長 (説明内容省略)

瀧口課長 (説明内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

後藤委員

30ページの下の方、稲美北中学校区の協議のところ、「本物に出会わせる経験が効果的である。」、これは住本先生の助言、思ったところだと思うのですが、本物に出会わせるとはどういうことなのでしょう。

稲葉課長

すいません。また確認してご報告させていただきたいと思います。

高田委員

後藤委員が質問された上の行です。「落ち着いて授業に取り組めるよう、学習環境づくりに力を入れた。」これはわかるのですが、「また、非認知能力の育成を主な柱とした取組により、教師の生徒理解が深まった。」ここでいう非認知能力というのは、どういう能力なのでしょう。

教育長

住本先生が毎回言われている、体験活動とか、いろんな人との出会いの中から、相手の気持ちがわかったり、あるいは自分を大切にするとか、そういうことが育っていくんですよという、関連したお話だったと思います。私は別のグループでしたが、いつも先生が言われていることだと思います。

それから高田委員から質問がありました、非認知能力というのは、今年度稲美北中学校が力を入れているところで、簡単に言うといわゆるペーパーテストで答えが出るような、例えば、計算ができるとか、文章が書けるとかそういう能力ではなくて、人の痛みがわかるとか、思いやりがあるとか、点数化できないようなところを育てていくことが大切ではないかということで、今北中で取り組まれています。

本多委員

心の健康サポート委員会の報告についてなのですが、住本先生のお話を聞いたかったのに参加できず残念だったのですが、一般の参加者が45名でしょうか。

保護者会の質問は、たくさんあったかと思うのですが、対応する時間というのはあったのでしょうか。

瀧口課長

質問の時間をとらせていただいたのですが、質問事項がありませんでした。

教育長

次は、その他(5)「令和6年度第4回稲美町社会教育委員会の報告について」及び(6)「稲美町青少年問題協議会の報告について」を事務局から説明願います。

赤松課長 (説明内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

後藤委員

33ページの見守りカメラなのですが、これは学校内のカメラではなくて、町内のカメラということですか。

赤松課長

おっしゃる通りです。令和6年に町内の見守りカメラを設置しておりますので、警察への情報提供であるとか、未然防止に効果があるという話をさせていただきました。

後藤委員

学校関係で言うと、校門近くとか、そういったところに限られているのでしょうか。

沼田部長

学校には小さいところは1台、中学校でしたら3、4台、校門のところなどにあります。

教育長

今年度は、先ほどありました、子ども達の通学路を中心に、防犯カメラを新しく設置しております。稼働するのが4月からということで、そのカメラが稼働しだした場合に、どのような効果があるのかということ、いろいろ今までの先進地の事例等も含めて意見交換をさせていただいております。

沼田部長

危機管理課が主に見守りカメラをつけております。さらに、認知症高齢者の方への見守りタグとか、小学校の児童に対するタグを買ったとき、通信料の補助を小学校1年生に限ってしようという予定を計画しているところです。

松田委員

先ほどのお話で、それは小学生が校門の方に入ったりすると契約しているところからメールなどで、保護者の方に通知が来るようなシステムも含まれているのでしょうか。

沼田部長

通学路に主に設置しているので、校門まで設置するかどうかというのは決まっていません。

教育長

カメラ自体にタグと連携する機能がついていますので、今後そういうことも可能になっていくかと思っています。他市町ではやられているところもあります。子ども達が学校の校門をくぐったら、契約されている保護者に連絡がいく、あるいは学校を出た時、またカメラを設置しているところを通ったら、どこそこの地点を通過しましたということも、確認しようと思えば確認できる。そのタグの補助を計画しているところですが、それに伴う様々な機能については、今後運用の中で考えさせていただこうと思っております。

松田委員

ご質問させていただいたお話の続きになるのですが、ひよこ学級の件で、公立なので、外遊びしかできないのかどうかかわからないのですが、私立の幼稚園とかは、年会費とか取られないで、毎月、室内でも遊ばせたりとかされているような幼稚園もあります。ちょっとした折り紙などを使うので、材料費として1000円ぐらい払ってされているような幼稚園もあります。材料費を払う

幼稚園だったら、みんなでどんぐりを拾いに行きましょうとか、その前に、どんぐりを拾う袋を何か作りましょうとか、夏祭りがあつたりとか、教室の中で、先生が絵本シアターをしてくださつたりとか、その幼稚園に入る前のお子さん、お母様たちの集まりというのが結構あります。そこで何かお母様方も、お話とか結構されるので、室内の方が、先生方との交流とか繋がりというかいろいろ会話がしやすそうに思います。

今、幼稚園に通わせるお子様よりも、保育所に預けられるお子様の方が多かつたりしますので、何かそういう室内で、みんなで交流するという方が、先生方とか、親御さんとかとのお話の交流の距離が近くなるので、何かちょっとヒントになるようなこととかお母様方からも意見が出ないかと思いました。

奥課長

具体的にこういうことをしている事例もいただきましたので、また園長会の方で、このひよこ学級の運営であるとか、今後の幼稚園のあり方にも関わってくるご意見だと思しますので、ぜひ、園長会の方で周知していきたいと考えております。

教育長

子育て支援という観点では、稲美町の場合は、いなみっこ広場という中で福祉の方で、親御さんたちの交流や子ども達のそういう体験とか、そういう活動をやっています。今松田委員からは、それを幼稚園でも体験をすることで、入園に繋がるのではないかということで、可能かどうか、調べさせていただきます。

本多委員

7年、8年ほど前になるのですが、ひよこ学級に子ども達を通わせましたが、室内での活動に参加させてもらつたりとか、体験活動的なものだけではなくて、ちゃんと名札とかも作っていただいて、無料だったと思います。なかなか楽しかったです。

教育長

そういう体験をもう少し大々的にPRして見せることが必要かもしれません。

他に何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、以上で本日の議事はすべて終了いたしました。

なお、次回の定例教育委員会は3月17日(月)ですので、よろしくお願いたします。

なお、3月は「定例教育委員会」に先立ち「臨時教育委員会」も開催いたします(14:30)。

それでは、これで本日の会議を閉会といたします。

本日は大変お疲れ様でした。ありがとうございました。